

令和元年度



カツオフォーラムin志摩

テーマ「カツオ食文化の持続的な発展をめざして」

日時

令和2年
1月25日(土)13:30~17:00

場所

志摩市志摩文化会館 大ホール
(三重県志摩市志摩町和具535)



主催：日本カツオ学会 カツオフォーラム実行委員会

協力：三重県立水産高等学校

後援：紀伊長島鯉鮪漁業者協会、(一社)全国近海かつお・まぐろ漁業協会
三重県、尾鷲市、紀北町

連絡先：カツオフォーラム実行委員会事務局(志摩市役所水産課)

TEL: 0599-44-0289 FAX: 0599-44-5262 E-mail: suisan@city.shima.lg.jp



目的

カツオは日本の自然と風土の中で育まれた「稲作と漁労」から生まれた食文化の基礎を支えるカツオ出汁の原料として重要な魚種であり、和食に不可欠な存在です。しかしながら、近年カツオ資源の減少や後継者の不足、消費者のカツオ離れなど、カツオ産業を取り巻く状況は厳しくなっています。

そこで、今回のフォーラムでは、カツオ食文化をはじめ、カツオの産業と文化を改めて見つめ直すとともに、地域に根ざした、新たなカツオに関わる価値や技術を紹介しながら、今後のカツオ産業、とりわけ、カツオ食文化の持続的な発展に向けた取り組みを検討する契機となることを目的として開催致します。

開催スケジュール

○開 会 13:30～

挨拶 日本カツオ学会会長 川島秀一 志摩市長 竹内千尋

○基調講演1 13:50～

「7つの「ぎょしょく」で問い直すカツオの魅力」

～カツオの多様な価値を地域で活かそう！～

講師 若林良和（愛媛大学副学長、南予水産研究センター教授）

○基調講演2 14:20～

「かつお節だしの嗜好性と健康効果について」

講師 河野一世（元（公財）味の素の文化センター専務理事、県立なら食と農の魅力創造国際大学校フードクリエイティブ学科長）

○基調講演3 14:50～

「心身を豊かにする魚介藻類の価値の繋がり」

講師 横田光正（医食農連携プラットフォーム副会長）

篠崎 聡（医食農連携プラットフォーム鮮度保持技術部会長、

株式会社前川総合研究所代表取締役社長）

○特別発表 15:20～

「カツオを使った商品開発～ポニーダの取り組み」

発表 三重県立水産高等学校



○パネルディスカッション 15:50～

テーマ「黒潮の恵みであるカツオ食文化の持続的発展に必要なことは何か」

コーディネーター：川島秀一（日本カツオ学会会長）

パネリスト：若林良和（講師） 河野一世（講師） 横田光正（講師）

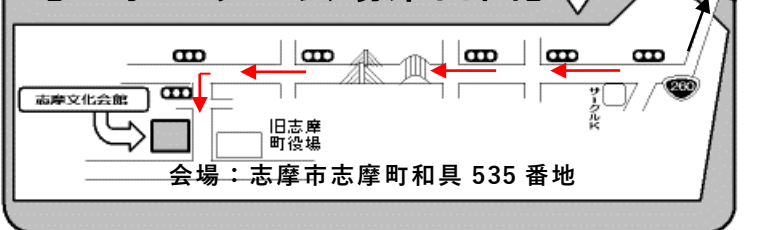
竹内千尋（志摩市長） 斎藤 晃（水産庁資源管理部国際課かつお・まぐろ

漁業室長） 山本源史（三重県近海かつお漁業問題検討会長）

○大会宣言 16:35～

○閉 会 16:45～

【フォーラム会場案内図】



●交流会 17:30～19:30

場 所：海女小屋体験「火場」広の浜

[志摩市志摩町和具 1641-1] フォーラム会場から徒歩約12分

○参加料 5,000 円（当日徴収）

なお、交流会参加は、事前申込みが必要です。

（申込先：事務局 志摩市役所水産課 (0599) 44-0289）

プロフィール

●川島秀一（かわしま しゅういち）

日本カツオ学会会長。東北大学災害科学国際研究所シニア研究員。1952年宮城県生まれ。法政大学社会学部卒業。博士（文学）。東北大学付属図書館、気仙沼市史編纂室、リアス・アーク美術館副館長、神奈川大学日本常民文化研究所特任教授、東北大学災害科学国際研究所教授を歴任。専門は民俗学で、主著に「カツオ漁」「漁撈伝承」「安さんのカツオ漁」など多数。

≪講演講師≫

●若林良和（わかばやし よしかず）

愛媛大学副学長・南予水産研究センター教授。日本カツオ学会顧問。1959年滋賀県生まれ。学習院大学法学部卒業、佛教大学大学院社会学研究科修了。水産学博士。高知大学教育学部教授、愛媛大学農学部教授、日本カツオ学会会長、地域漁業学会会長を歴任。専門は水産社会学で、主著に『カツオ一本釣り』『カツオ学入門』『カツオと日本社会』『ぎょしょく教育』など多数。

●河野一世（こうの かずよ）

県立なら食と農の魅力創造国際大学校フードクリエイティブ学科長。お茶の水女子大学家政学部卒業、同大学院人間文化研究科修了。博士（学術）。味の素（株）中央研究所、（財）味の素の文化センター専務理事、お茶の水女子大学生活環境教育研究センター教授を歴任。専門は食文化、調理科学で、主著に『だしの秘密』『調理とおいしさの科学』など多数。

●横田光正（よこた みつまさ）

医食農連携プラットフォーム副会長。日本栄養士会中村会長と共に、研究会を創設、主食・主菜・副菜・果実・乳製品・お茶の育種・生産・加工・流通・調理、栄養関係者と共に、心身に寄り添う「食環境」を協創。ライフステージを通じた Quality of Life、「美味しく、賢く食べ、楽しく活動する」ことに寄り添う価値コミュニケーションをはじめ、生命（心身）を豊かにする価値の繋がりを、品質MSを基盤に、ステイクホルダーと協創している。第10回科学技術予測調査「農林水産・食品」分野委員。

（表紙イラスト）志摩市出身で三重県立水産高等学校卒業生の漫画家 西川丸さんの作品